

国内の感染者数が減りつつある中、新たな変異株についての報道が世界中を駆け巡っています。9月の正門横掲示板に記したように、「高く伸ばしたアンテナと 高感度の受信機を使って…」自分と大切な人を守るためにも、つらくとも感染予防対策はしっかりと続けていかなくてはなりませんね。

ここ最近、世の中では二項対立構図の「白黒をはっきりと付けよう！」圧力が、とても強いように思います。オセロではあるまいし、明確な線引きで善悪を決めたいのは分からなくもないですが、この傾向は果たしてどうなのでしょう。

私は、世の中のほとんど（もしかしたら全て）が、グラデーションのように色々な色が連続して混在しているように、そして、白でも黒でもない色に落ち着くこと（落ち着かせること）の方が実生活では多いし、大切なのではないかとよく思ったりしています。

言葉のやりとりをしている内に、あるいは相手のことを考えている内に、どんどん一つの色だけに染まっていく（染めていく）。最初はやりとりができていたキャッチボールが、知らぬ間にドッジボールになっていたとは、笑い話にもならないことがなんと多いことか。

自分は絶対に正しくて相手は間違っていると、白黒はっきり付けると思考は停止するし、二項対立の激しいやりとりの中でお互いが傷つくことになってしまいます。

私たち人間は完全に正しいことばかりができるわけではないと考えます。だからこそ、グラデーションの落としどころを相談し合う思慮はとても必要だと思います。

今年もあとわずか。師走の日々を少しでも沢山の笑顔で過ごしたいものです。